

第 3 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

平成 2 8 年 2 月 1 8 日

定 例 会

平成28年第3回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 平成28年2月18日
 招集の場所 教育委員会室
 開閉会日時 開会2月18日 午前10時00分
 閉会2月18日 午前11時48分

出席委員

委員長	住田 俊	委員 長者 職務代理者	堀川 智子
委員	進藤 秀子	委員	荒木 明子
委員 (教育長)	吉田 茂		

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	横川 清	学校教育部長	野口 久男
教育総務部 副部長兼 スポーツ振興 課長	植田 春夫	学校教育部 副参事兼 学務課長	上野 高弘
教育総務部 副参事兼 図書館長	小林 彰博	学校教育部 副参事兼 給食課長	川村 明
教育総務課長	山梨 一弘	指導課長	瀧田 優
生涯学習課長	福田 博	教育センター 所長	小林 俊夫
生涯学習課 調整幹兼 科学技術体験 センター所長	小林 中子	給食課 調整幹兼 第一学校給食 センター所長	坂巻 真人
		教育センター 調整幹	石山 秀樹
		学校管理課 副課長	齋藤 道雄

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副課長	中村 則行
--------------	-------

	議 事	て ん 末
議 事 状 況	教育長報告	
	・教育長専決について	
	議 案	
	・第4号議案 第2期越谷市教育振興基本計画について	原案可決
	・第5号議案 平成27年度皆勤賞等被表彰者の決定について	原案可決 (秘密会)
	協議事項	
	・平成28年度越谷市教育行政重点施策について	

◎開会の宣告

住田委員長 これより2月の定例教育委員会会議を開会いたします。

本定例会に関し、現在のところ傍聴許可願の提出はございませんが、「越谷市教育委員会傍聴人規則」第1条第2項の規定により、開会後に許可願が提出された場合、傍聴を許可したいと存じます。

はじめに、第5号議案については、表彰案件であることから秘密会とし、先に審議したいと思いますが、これにご異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

(午前10時00分)

◎教育長報告

住田委員長 それでは、教育長報告に入ります。

「教育長専決第1号について」、教育長のご説明をお願いします。

吉田教育長 教育総務課長。

山梨教育総務課長 それでは、教育長専決につきましてご報告を申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の1ページをご覧ください。

去る1月28日の定例教育委員会会議以降、本日までの間に教育長が専決処理いたしました2件の専決事項について、ご報告させていただきます。これらにつきましては、教育委員会会議の議決事項でございますが、緊急に処理する必要があり、かつ教育委員会会議を招集するいとまがなかったことから、越谷市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第2項の規定に基づき、教育長が専決処理を行ったものでございます。

なお、教育長が専決処理を行った事項につきましては、同規則第2条第3項の規定に基づきまして、本定例会においてご報告をさせていただくものでございます。

それでは、専決第1号「平成27年度越谷市教育費補正予算の見積りについて」、ご報告をさせていただきます。

恐れ入りますが会議要項の3ページをお開きください。

専決第1号 平成27年度越谷市教育費補正予算の見積りについて。

平成27年度越谷市教育費補正予算の見積りについて、別冊のとおり専決処理する。

平成28年2月4日、越谷市教育委員会教育長。

恐れ入りますが、別冊1の「平成27年度越谷市教育費補正予算総括表及び予算説明書」の2ページ及び3ページをご覧ください。

はじめに、歳入についてご説明いたします。3ページの表の一番下にごございます歳入合計欄をご覧ください。教育委員会に関連する歳入につきましては、今回、4,567万円を減額し、補正後の総額は21億2,926万4,000円となります。

歳入の内容でございしますが、10ページ及び11ページの(1)歳入予算説明書をご覧ください。13款国庫支出金、2項国庫補助金、5目教育費国庫補助金につきましては、小中学校のアスベスト除去工事に係る事業費の確定に伴い、小学校費補助金690万円、中学校費補助金1,290万円をそれぞれ減額いたします。また、西大袋土地地区画整理事業地内の「大道遺跡」の発掘調査事業に係る国庫補助金として、社会教育費補助金510万円を追加いたします。

16款寄附金、1項寄附金、8目教育費寄附金につきましては、ふるさと納税による教育に関する指定寄附がございましたので、小学校費寄附金7万円、中学校費寄附金5万円、社会教育費寄附金1万円を、それぞれ追加いたします。

19款諸収入、6項雑入、1目雑入につきましては、その他雑入として、市主催のスポーツ大会における怪我に対する市民総合災害等補償金40万円を追加いたします。

20款市債、1項市債、7目教育債につきましては、小中学校の屋内運動場耐震補強工事及びアスベスト除去工事に係る事業費の確定に伴い、小学校債1,130万円、中学校債2,020万円をそれぞれ減額いたします。

次に、歳出についてでございますが、戻りまして5ページ下段の教育費に係る歳出合計欄をご覧ください。今回、1億1,630万円を減額し、補正後の総額は93億9,160万3,000円となります。

歳出の内容について、主なものをご説明申し上げます。16ページ及び17ページの(3)事業別予算説明書をご覧ください。

10款教育費、1項教育総務費、4目教育センター費の校内系ネットワーク運用事業につきましては、事業費の確定に伴い、情報処理機器等借上料1,030万円を減額いたします。

次の、6目入学準備金の入学準備金貸付事業につきましては、貸付希望者の減少に伴い、入学準備金1,900万円を減額いたします。

下段の、2項小学校費、1目学校管理費の小学校施設改修費につきましては、事業費の確定に伴い、太陽光発電設備設置工事費450万円を減額いたします。また、アスベスト対策事業費につきましては、事業費の確定に伴い、アスベスト除去工事費1,510万円を減額いたします。

18ページ、19ページをご覧ください。2項小学校費、3目学校建設費のうち、2段目の非構造部材耐震補強事業につきましては、事業の進捗に伴い、非構造部材耐震補強工事費690万円を減額いたします。

次の、3項中学校費、1目学校管理費のアスベスト対策事業費につきましては、事業費の確定に伴い、アスベスト除去工事費1,930万円を減額いたします。

次の、3項中学校費、3目学校建設費の非構造部材耐震補強事業につきましては、事業費の確

定及び進捗に伴い、非構造部材耐震補強工事費520万円を減額いたします。

下段の、6項社会教育費、3目コミュニティセンター費のコミュニティセンター管理費につきましては、事業費の確定に伴い、共有部分修繕工事等負担金2,810万円を減額いたします。

20ページ、21ページをご覧ください。7項保健体育費、2目学校給食費のうち、給食センター施設管理費につきましては、事業の進捗に伴い、燃料費500万円を減額いたします。また、給食センター施設改修費につきましては、事業費の確定に伴い、施設改修工事費170万円を減額いたします。

次の、3目体育費、その他体育費につきましては、市主催のスポーツ大会において怪我をされた方に対して支払う市民総合災害等補償金として、40万円を追加します。その他の要求につきましては、事業費の確定等に伴う整理が主なものでございます。

恐れ入りますが、6ページにお戻りください。(3)繰越明許費でございますが、2項小学校費及び3項中学校費における非構造部材耐震補強事業につきましては、12月補正予算にて計上した事業費について、今年度中の事業完了が見込めないことから、平成28年度に繰り越すものでございます。それぞれの事業に係る金額につきましては、表をご参照いただき、ご了承賜りたいと存じます。

(4)債務負担行為の変更でございますが、大相模小学校の仮設教室の設置に係る事業費が確定したことに伴い、限度額を変更するものでございます。

7ページをご覧ください。(5)地方債の変更ですが、歳入でご説明いたしましたとおり、小中学校の屋内運動場耐震補強事業及びアスベスト対策事業に係る事業費の確定に伴い、それぞれ市債の限度額を変更するものでございます。

専決第1号に係る報告は以上でございます。

住田委員長 ただいまの事務局のご説明に対しまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

では、1つだけお聞きしたいのですが、こちらの別冊のほうの12ページ、13ページを開いていただきたいのですが、入学準備金の貸付事業ですが、大体申し込みというのは例年何件くらい出てくるのでしょうか。

吉田教育長 教育総務課長。

山梨教育総務課長 入学準備金の貸付につきましては、需要に対しての件数になりますので、何とも申し上げづらいところがございます。

今年度につきましては、第1回目については10件、770万円、第2回目は37件の2,210万円の申請がございました。合計しますと47件、2,980万円でございます。

貸付件数につきましては、去年が64件、今年度については申請件数で47件ですので、毎年何とも言えないのですが、過去5年間程の実績の平均だと60件前後と想定しているところでございま

す。

住田委員長 たまたまニュースで、制服が買えないとか、持ち物で困っているとかといって子どもが欠席をしてしまった、そんなのが流れていましたので、少し気になりました。

他にはよろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、ただいまの事務局のご説明に対して、報告を受けたということにさせていただきます。

次に、「教育長専決第2号について」、教育長のご説明をお願いいたします。

吉田教育長 学校教育部長。

野口学校教育部長 それでは、専決第2号「平成28年度越谷市教育費予算の見積りについて」、ご報告をさせていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の5ページをお開きください。

専決第2号 平成28年度越谷市教育費予算の見積りについて。

平成28年度越谷市教育費予算の見積りについて、別冊のとおり専決処理する。

平成28年2月10日、越谷市教育委員会教育長。

説明に先立ち、お手元に配付いたしました会議資料のうち、資料1「平成28年度当初予算主要事業調整結果一覧」の1ページをご覧ください。平成28年度当初予算につきましては、昨年12月の定例会において、各課の重点施策とあわせて、この表に記載してございます主要事業を中心に説明申し上げ、ご協議をいただいたところでございます。この表は、主要事業の予算調整結果を一覧で表したものととなります。

表のうち、中央の事業概要欄をご覧ください。金額等につきましては、主な経費の最終予算額を表しております。なお、予算要求はしましたが、査定の結果、事業そのものが見送りとなった項目につきましては見え消しとさせていただいており、また事業のうち一部の経費が見送りとなった項目につきましては、参考として「0円」と表記してございます。

また、一番右側の欄になりますが、「平成28年度越谷市教育行政重点施策」における重点的な取り組みの番号と掲載ページを示しています。これは、来年度予算の主要事業が、教育行政重点施策と連動していることを表しております。

この資料は、平成28年度当初予算調整結果の主要な部分となりますので、恐れ入りますが、後ほどご参照いただき、ご了承を賜りたいと存じます。

それでは、平成28年度越谷市教育費当初予算の見積りについて、順次ご説明申し上げます。

なお、平成28年度当初予算の見積りのうち、歳出の詳しい内容については、ただいま申し上げましたとおり、後ほどご協議いただく「平成28年度越谷市教育行政重点施策」と連動していることから、重点施策の説明の際に、各担当課所長からご説明申し上げますので、私からは、別冊2

の「平成28年度越谷市教育費予算書」に基づき、その概要についてご説明申し上げます。

それでは、お手元の別冊2の4ページ下段の歳出合計欄をご覧ください。はじめに、平成28年度の一般会計当初予算は、対前年度比1.7%減の884億円でございます。そのうち、10款教育費につきましては、対前年度比1.5%減の91億2,288万1,000円となっております。

次に、恐れ入りますが、10ページをご覧ください。（3）債務負担行為でございますが、こちらにつきましては、川柳小学校に仮設教室を設置するための賃借費について、新たに平成33年度までの債務負担行為を設定するものでございます。

次に、11ページをご覧ください。（4）地方債でございますが、大相模小学校の敷地の整備に伴う「学校施設整備事業」、コミュニティセンター大ホールの音響調整卓等の更新に伴う「コミュニティセンター整備事業」及び給食センターの調理用機器の購入に伴う「給食センター整備事業」でございます。限度額等につきましては、表をご参照いただきご了承賜りたいと存じます。

次に、歳入の主なものについて、ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、14ページ及び15ページの（6）歳入予算説明書をご覧ください。歳入予算の算定に当たっては、過去の収入実績や変動要因を十分考慮するとともに、国県支出金については、補助制度の改正内容や事業内容等を精査した上で計上しております。

はじめに、11款分担金及び負担金、1項負担金、6目教育費負担金につきましては、日本スポーツ振興センター負担金1,220万円を計上いたします。

12款使用料及び手数料、1項使用料、7目教育使用料につきましては、科学技術体験センターをはじめとした各教育施設の使用料及び行政財産使用料として、2億2,679万円を計上いたします。

16ページ及び17ページをご覧ください。13款国庫支出金、2項国庫補助金、5目教育費国庫補助金につきましては、幼稚園就園奨励費補助金1億3,200万円や、区画整理事業費補助金1,250万円が主なものでございます。

14款県支出金、2項県補助金、6目教育費県補助金につきましては、いじめ・不登校対策充実事業助成金900万円や、被災児童生徒就学等支援事業費補助金合計100万円が主なものでございます。

18ページ、19ページをご覧ください。19款諸収入のうち、3項貸付金元利収入、5目入学準備金貸付金収入につきましては、入学準備金貸付金償還金3,900万円を計上いたします。

6項雑入、1目雑入につきましては、学校給食費実費徴収金13億4,700万円のほか、各種実費徴収金等を計上いたします。

20ページ、及び21ページをご覧ください。20款市債、1項市債、5目教育債につきましては、学校施設整備事業債、コミュニティセンター整備事業債及び給食センター整備事業債を計上いたします。

以上が歳入予算の主なものでございます。

続きまして、歳出の主なものについて、順次ご説明申し上げます。冊子の中ほどにピンク色の合紙がございまして、それ以降の部分となります。

教育費事業別予算説明書の4ページをお開きください。はじめに、4款衛生費に教育委員会の事業に係る経費がございまして、ご説明申し上げます。4款衛生費、2項環境保全費、1目環境対策費の環境対策事業につきましては、今年度に引き続き実施する学校給食用食材の放射性物質測定に係る経費として、45万円を計上いたします。

次に、10款教育費の主なものにつきましてご説明申し上げます。はじめに、ページが飛びまして、8ページ及び9ページの下段になります。1項教育総務費、2目事務局費のうち、特別支援教育支援員等配置事業につきましては、児童生徒の教育的ニーズにあわせて、特別支援教育支援員を増員し、配置するための経費として、臨時職員賃金など、4,241万円を計上いたします。

次に、22ページ、23ページの中段になります。4目教育センター費のうち、教育相談事業につきましては、不登校やいじめ等の課題を抱える児童生徒や保護者の相談にあたるため、各種相談員やスクールソーシャルワーカーの報酬など、6,073万円を計上いたします。

次に、36ページ及び37ページ中段になります。2項小学校費、1目学校管理費のうち、空調設備設置事業につきましては、PFI方式による小学校30校分の普通教室等へのエアコン設置及び更新に係る支援業務委託料として、1,820万円を計上いたします。

次に、46ページ、47ページの上段になります。3項中学校費、1目学校管理費のうち、中学校施設改修費につきましては、校舎等の計画的な改修工事費2,460万円のほか、富士中学校の敷地拡張に伴う用地購入費9,890万円など、1億3,550万円を計上いたします。

次に、60ページ及び61ページの下段になります。6項社会教育費、1目社会教育総務費のうち、文化財調査事業につきましては、大道遺跡の発掘調査にかかる埋蔵文化財調査補助業務委託料など、3,592万円を計上いたします。

次に、70ページ及び71ページの中段になります。6項社会教育費、3目コミュニティセンター費のうち、コミュニティセンター管理費につきましては、管理運営委託料5億3,900万円のほか、大ホール音響調整卓等の更新に係る施設用器具購入費3,900万円など、5億8,645万円を計上いたします。

次に、76ページ及び77ページの中段になります。5目図書館費のうち、蔵書等整備事業につきましては、資料管理の充実と利用者の利便性の向上を図るため、図書館システム電算委託料4,470万円など、6,626万円を計上いたします。

次に、88ページ及び89ページの上段になります。7項保健体育費、2目学校給食費のうち、学校給食栄養管理事業につきましては、給食内容の充実を図るため、給食材料費13億5,500万円など、学校給食の提供に係る経費として、14億3,792万円を計上いたします。

次に、94ページ、95ページの中段になります。3目体育費のうち、スポーツ教室等開催事業に

つきましては、勤労者スポーツ教室や障がい者スポーツ教室、老人福祉施設出前講座など、誰もが気軽に参加できるスポーツ教室等を実施するための経費として、講師等謝礼155万円など、174万円を計上いたします。

以上が歳出予算の主なものでございます。

専決第2号についての報告は以上でございます。

住田委員長 ただいまの事務局のご説明に対しまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 まず、歳入のほうから。17ページなのですが、被災児童生徒就学等支援事業費補助金の被災児童の件ですが、特定の何か災害を考えてのことなのでしょうか。

吉田教育長 学務課長。

上野学務課長 これは、東日本大震災におきまして被災して、その土地を離れなくてはいけない子どもへの就学援助につきましては、県から補助が入る形になっておりまして、そのために載せてあるものでございます。ですので、支給額等は通常の就学援助と変わらないのですけれども、補助金が入るため、予算項目を通常の就学援助とは別にしております。認定基準等は一切変わりません。

進藤委員 どうもありがとうございました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 今度、歳出のほうです。37ページ、エアコンの関係なのですが、P F I 方式で行うということで、こちら、管理委託料ということなのですが、いろいろと技術的な問題があつて、恐らくコンサルタント会社等にいろんな手続とかアドバイスをお願いするだろうなと思って、その費用だと理解したのですが、いかがでしょうか。

吉田教育長 学校管理課副課長。

齋藤学校管理課副課長 P F I 事業につきましては、越谷市で2例目ということで、1例目につきましては、越谷市斎場で行っているのですけれども、それから10年ほど経過している中で、P F I の内容も簡略化されたりいろいろ変わってきているところから、新たにP F I 事業におきまして、越谷市の職員だけではなく、委託をすることによって、コンサルのノウハウを使うような形で進めていく内容でございます。この委託事業につきましては、実際に工事を行うP F I 事業者の決定までのサポートをしていただくような委託業務でございます。

住田委員長 はい、どうぞ。

進藤委員 エアコンの関連なのですが、今年度、28年度でどのプロセスまで進めることを想定していますか。

齋藤学校管理課副課長 28年度につきましては、エアコンの整備を実際に行うPFI事業者、こちらの決定まで、3月議会に向けて、そこで契約議決をいただくような形で進めております。

住田委員長 はい。

進藤委員 エアコンの事業期間、もう大体決まっているのでしょうか。この事業の事業期間。

齋藤学校管理課副課長 エアコンにつきましては、計画の中では平成29年10月1日からエアコンが使えるような方向で進めておりますが、事業の内容、進捗状況によっては、前倒しというか、1ヶ月でも早くできるような形で進めています。

進藤委員 終期はいつでしょう。終わりは。

齋藤学校管理課副課長 エアコンの終わりといいますと。

進藤委員 PFIというのは、その対価が回収できた時点で、一応事業が終了という形になると思うのですけれども、その終期です。

齋藤学校管理課副課長 エアコンのPFIにつきましては、エアコンの耐用年数が13年とありますので、29年から13年後ということで、そこまでの期間を考えております。

住田委員長 はい。

進藤委員 公平性であったりとか透明性ということ、かなりガイドラインなどではうたっているようなのですけれども、例えば契約書等々に関しても、公開するよにということも、一応ガイドラインなどに書いてあるようだけれども、こういった形で公開することを想定されていますでしょうか。

齋藤学校管理課副課長 越谷市のホームページ等を通じて公開をさせていただき考えでございます。

進藤委員 いろいろとありがとうございました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

堀川代理。

堀川委員長職務代理者 歳出のほうの8ページになりますけれども、特別支援教育支援員等配置事業というところの日本語指導員の謝礼ということで予算が組まれておりますけれども、市から報償を出している日本語の指導員の方というのはどういう配置といいますか、各学校なのか、ある場所に行って日本語を習う、その形式と人数等、内容を教えていただければと。申しわけありません。

吉田教育長 学務課長。

上野学務課長 越谷市の国際交流協会等にご協力をいただきまして、日本語指導員の推薦をいただいて、こちらのほうから委嘱状を出し、各校に行っているところでございます。各校に行きまして、週1回、2時間程度。本来でしたら、1人の児童生徒に対して1人の指導員で指導を行っていききたいところなのですが、昨今、学校によっては外国籍の子どもが多くありまして、場合によっては、1名の指導員で2名の児童生徒の対応をするというようなこともございます。

報償費で対応しておるのですが、このところ、どうしても3月末までの予算が確保できないといえますか、海外から来たときは編入という形をとるのですけれども、年度途中での編入が多くて、こちらのほうの予算額の増額についても頑張っていかななくてはいけないと思っているところでございます。

あくまでも学校の申請によって行っておりますし、また学期ごとに指導の記録というような形で報告をいただいております。ですので、これも子どもによって、日本語が多用される環境で生活している子は早く日本語を習得することができるのですけれども、割と同じ国の人たちが集まっている中で生活をしている子どもですと、日本語の習得に時間がかかってしまいます。子どもによっては、単年度の指導だけではなくて、複数年指導に当たっている子どももおる現状でございます。人数的には、小学校と中学校を合わせて年間で50名ほどになるようなことが多いのが、現状でございます。

以上です。

堀川委員長職務代理者 ありがとうございます。

地区ごとに多い地域などはあるのですか、越谷市内で。

上野学務課長 まず、県内でも、市町村によって国の色が多少出るところが正直な話あります。やはり、そういう外国の方も、多分連絡手段があったりですとか、会社などもその国の人を、言葉は悪いのですけれども、まとめて入っていただいているとか、そういうようなところもあるようです。学校によって、市内の学校でも、どちらかというとし街地よりも少し離れた地域のほうが、あとは家賃だとかそういうような関係もあるのだと思うのですけれども、少し離れたところなどの工場地域のところなどに新たに入ってくる人が多いような状況がございます。

外国人の児童生徒数も国別でいろいろ出しておるわけですが、一番多い国がフィリピンでございます。そして、中国が2番目、3番目が韓国、あと最近多くなってきたのがパキスタンで、本年度、これは5月1日現在の統計なのですけれども、先ほどの一番多いフィリピンが51人、中国が44人、韓国が20人、そしてパキスタンが15人、バングラディシュが10人、そのほかブラジル、ベトナムが各4人とか、あとは1人、2人というような形ですので、さほど多いとは言えないのですけれども、市内の外国人の国籍はそのような形になっております。今、申し上げた人数は、小中学校の合計人数でございます。

堀川委員長職務代理者 ありがとうございます。大変参考になりました、ありがとうございました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、ないようですので、この件については報告を受けたということにさせていただきます。

◎第4号議案 第2期越谷市教育振興基本計画について

住田委員長 それでは、続きまして第4号議案「第2期越谷市教育振興基本計画について」を議題といたします。

教育長のご説明をお願いします。

吉田教育長 教育総務部長。

横川教育総務部長 それでは、第4号議案 第2期越谷市教育振興基本計画についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の7ページをお開きください。

第4号議案 第2期越谷市教育振興基本計画について。

第2期越谷市教育振興基本計画の原案について、別冊のとおり決定するものとする。

平成28年2月18日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、教育振興のための施策に関する基本的な計画を定めるため、その原案について提案するものでございます。

恐れ入りますが、お手元の別冊3「第2期越谷市教育振興基本計画（案）」をご覧ください。教育振興基本計画につきましては、教育基本法第17条第2項において、地方公共団体は、地域の実情に応じて、教育振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならないとされております。したがって、本計画は、別冊3の表紙の下段にございますとおり、「越谷市」と「越谷市教育委員会」の連名により策定するものでございます。

なお、平成27年4月10日に開催されました第1回総合教育会議におきまして、越谷市では「教育振興基本計画」をもって、市長が定める「教育に関する大綱」とすることを決定していただきました。その後、庁内の会議等において段階的に調整を重ねながら計画素案を作成し、昨年9月定例教育委員会会議及び平成27年11月16日に開催されました第2回総合教育会議におきまして、「計画素案」についてご協議をいただきました。

また、平成28年2月12日に開催されました第3回総合教育会議におきましては、今回お示ししておりますものと同様の「計画案」についてご協議をいただいたところでございます。

本日は、教育委員会として、計画の原案を決定するために提案をさせていただくものでございまして、議決後は、市長決裁により、正式に決定することとなります。詳しい策定経過につきましては、本計画案の107ページにございます「策定経過」をご覧くださいと思います。

それでは、計画案についてご説明をさせていただきますが、先ほど申し上げましたとおり、これまでの教育委員会会議及び総合教育会議におきまして、内容についてのご協議をいただいておりますので、本日は、「計画の趣旨」、「基本理念」、「計画の推進について」など、計画の主要な部分についてのみご説明をさせていただきます。

資料の3ページにお戻りをいただきたいと思います。「(1) 計画策定の趣旨」の6行目以降に

記述してございますとおり、本市では、平成23年3月に策定いたしました「いきいきとだれもが夢に向かって輝く越谷教育プラン―越谷市教育振興基本計画―」に基づき、「生涯学習社会の実現をめざして」という基本理念のもと、学校教育・生涯学習・生涯スポーツの3つの分野においてそれぞれ基本目標を掲げ、教育の振興に取り組むことで、着実に成果を上げてまいりました。その間の教育を取り巻く環境の変化などを踏まえ、このたび、第1期計画に引き続き、今後も教育行政を総合的かつ計画的に推進するため、平成28年度から平成32年度までを計画期間とする「第2期越谷市教育振興基本計画」を策定するものでございます。

5ページをお開きください。第2章「基本理念・基本目標」として、第1期計画に引き続いての後期5年間の計画ということで、基本理念については、第1期計画に引き続き「生涯学習社会の実現をめざして」といたします。

また、6ページになりますが、こちら第1期計画に引き続き、基本理念にもございます「生涯学習社会」を実現するための「3つの視点」、さらには7ページになりますが、その「3つの視点」を確立するための「3つの基本目標」として、学校教育・生涯学習・生涯スポーツのそれぞれの分野における基本目標を掲げております。

今後の5年間につきましても、基本理念に基づき、第1期計画における成果や課題をしっかりと踏まえた上で、33ページ以降の「第2編 各論」に定めてございますとおり、基本目標ごとの各施策に取り組み、教育行政の一層の推進を図ってまいります。

また、ページが飛びますが、88ページをお開きください。計画の推進にあたりましては、教育行政の役割をしっかりと認識し、全ての施策において市民の声に耳を傾け、市民の参加を促し、市民と一体となって実行してまいります。

89ページになりますが、下段の表にございますとおり、第1期計画と同様にPDCAのマネジメントサイクルに基づき、計画の進行管理を行ってまいります。

具体的には、90ページになりますが、基本目標ごとに各指標の目標値を掲げ、毎年度進捗状況を確認することで、施策の目的達成に対する目安としながら施策の成果を検証し、市民への説明責任を果たしてまいります。

以上が計画の主な内容でございますが、本計画の策定にあたりましては、教育関係者や市民の意見を十分に反映するため、昨年11月にパブリックコメントを実施したほか、教育委員会が所管する各審議会等の委員の皆様には、「計画骨子」、「計画素案」、「計画案」の各段階ごとにご意見をいただきました。その結果、パブリックコメントでは合計27件、審議会等からは合計159件のご意見をいただき、計画策定の参考とさせていただきました。

なお、第2期越谷市教育振興基本計画につきましては、本日議決をいただいた後、事務局におきまして「細かな字句等の最終調整」及び「重点事業指標における平成27年度末現況見込み値の、2月末現在の数値への置きかえ」などをさせていただきました上で、市長決裁をいただき、正式

に決定をすることになります。

その後、「市議会議員への情報提供」及び「市内連絡会議における市内への周知等」を行うとともに、平成28年4月には関係機関への配付や市民への公表を行い、計画をスタートすることとなります。

第4号議案「第2期越谷市教育振興基本計画について」の説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

住田委員長 これより本案に対し質疑、討論を行います。

ご質問またはご意見等ございますでしょうか。

出るときは、このようなところはカラーで出るのでしょうか。

〔「はい」「カラーで」と答える者あり〕

住田委員長 私どもも、こういうものを選ぶときにかかわったもので。

随分立派だ。わかりました。

吉田教育長 若干、昨年と比べてこういうところを変えたとか、補足してください。

山梨教育総務課長 計画書を見ていただきますと、まず表紙については緑を基調として、なかなかいい色かなと思っております。中身の基本目標ごとの色につきましては、1期を継承させていただきました。基本目標1については赤、基本目標2についてはオレンジ、基本目標3については緑としております。全体的な色味についても、1期に比べると見やすく構成しております。今、印刷業者と調整中で、事業等の写真についてもいろいろなところに散りばめまして、また、小中学生から募集した絵画を教育委員さんに選考していただき、その優秀な作品についても、表紙、裏表紙等に掲載しております。最終的にカラーになりますと、かなり立派なものになると思いますので、完成するのをお待ちください。

住田委員長 期待しています。

何か他にはございますでしょうか。もう何回かやってきたのですけれども、よろしいですか。

はい。

堀川委員長職務代理者 大変立派な基本計画で、大変だったと思うのですが、6ページの生涯学習社会の実現に必要な3つの視点、大変すばらしい内容で、この間の総合教育会議でも学校教育のみならず、市民の皆様にごこういったことを意識していただいて、全体で教育に対する意識が上がっていただければいいなという話をさせていただいたのですけれども、市民の皆様にごこういうものを読んでいただく機会とか広報活動とか、そういったものをどのように展開されていくのでしょうか。

吉田教育長 教育総務課長。

山梨教育総務課長 当然、こちらの計画につきましては、広報・ホームページ等で周知させていただき、4月に発行します教育だよりのほうでも、計画について特集を組みまして、保護者の方々全員に、第2期越谷市教育振興基本計画の策定内容について周知をさせていただきます。

なおかつ、この計画策定にあたって、教育委員会の審議会等の方々からも意見をいただいておりますので、計画の内容につきましては、審議会等にも説明をさせていただく予定でございます。

さらに、概要版として、A3版カラーのリーフレットでわかりやすい内容に集約したものも作成し、教育総務課の窓口やその他公共施設等を利用して市民の方々にも周知していきたいと考えております。

堀川委員長職務代理者 はい、わかりました。一般市民の方たちにもたくさん見ていただきたいなと思っています。ありがとうございました。

住田委員長 この前、瀬戸に視察に行ったときも、向こうの方が随分評価をしておりました。期待をしております。

いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、本案は、原案どおり決することに、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

それでは、私のほうからひと言言わせていただきますが、第2期の教育振興基本計画の策定にあたっては、幾回かの会議においての協議を重ね、審議会の委員さんや市民の方々からも意見をいただき、ようやくこのような形になってまいりました。平成28年度から、この5年間の第2期の計画に基づきまして、越谷市の教育行政をより一層推進して行ってほしいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

◎平成28年度越谷市教育行政重点施策について

住田委員長 それでは、続きまして協議事項に入ります。

「平成28年度越谷市教育行政重点施策について」、教育長のご説明をお願いします。

吉田教育長 教育総務部長。

横川教育総務部長 それでは、平成28年度越谷市教育行政重点施策について、ご説明を申し上げます。

まず、私からは、スケジュールの確認と、策定にあたっての考え方等についてご説明をさせていただいた後、各担当課所長から、「重点的な取り組み」及び「重点事業」について、順次ご説明をさせていただきます。その後、委員の皆様にご協議をいただきたいと存じますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、はじめに策定スケジュールについて確認させていただきます。お手元の資料3「平成28年度『教育行政方針』及び『教育行政重点施策』策定スケジュール」をご覧ください。本日の会議は、網掛けをしてあります2月18日の箇所になります。「教育行政重点施策」につきまして

は、1月定例教育委員会会議において議決いただきました「教育行政方針」との整合を図るため、並行して調整を行ってまいりました。

具体的には、スケジュール中の10月22日開催の10月定例教育委員会会議で、「教育行政方針」と「教育行政重点施策」の双方に反映させる事業を、「重点事業一覧表」という形で提案し、委員の皆様のご了承をいただきました。その後、市長2期目の所信表明や平成28年度当初予算の調整結果、さらには教育行政方針に盛り込んだ内容との整合性などを踏まえて、「重点事業一覧表」の修正を行いましたので、改めてお手元に配付をさせていただきました。

お手元の資料2「平成28年度教育行政重点事業一覧表」をご覧ください。この一覧表の見方でございますけれども、表紙をめくっていただきまして、一覧表の1ページ目、一番下の段の「小中学校における伝統文化教育の実施」、また2ページ目、上から2段目と5段目にあります「越谷市いじめ防止基本方針を踏まえたいじめ防止等に係る事業の推進」など、行全体が網掛けとなっているものは、調整の結果追加した事業でございます。

なお、単なる言い換えや、細かな字句の変更箇所につきましては、網掛けを施しておりませんので、ご了承いただきたいと思います。

詳細につきましては、後ほどご参照いただきたいと思います存じますが、この一覧表をもとに、本日ご協議いただきます別冊4の「平成28年度越谷市教育行政重点施策（案）」を作成いたしました。今後のスケジュールにつきましては、本日の協議結果を踏まえ、再度事務局内で調整を行った後、3月24日開催予定の定例教育委員会会議に議案として提出したいと考えております。

スケジュールについては以上でございます。

次に、平成28年度教育行政重点施策の策定にあたっての考え方等についてご説明をさせていただきます。恐れ入りますが、お手元の別冊4「平成28年度越谷市教育行政重点施策（案）」の表紙から2枚めくっていただき、目次をご覧ください。この冊子は、平成27年度版と同じ構成となっております。1ページから7ページまでは、3月定例市議会において表明する「平成28年度教育行政方針」を掲載し、9ページから36ページまでが本編となります「教育行政重点施策」の内容、37ページ以降には、「資料」としまして各事業の指標及び教育費予算を掲載しております。

それでは、9ページをご覧ください。ここからが「教育行政重点施策」の内容となります。重点施策では、教育行政方針を受け、平成28年度に特に重点的に取り組む教育施策の具体的な事業内容を明示いたします。第2期教育振興基本計画を真に実効性のある計画とするための単年度の実行計画的な位置づけとして、PDCAのマネジメントサイクルにおいては、Dの実行に当たる部分となります。

次の10ページから13ページまでは、当該年度の「重点的な取り組み」及び「重点事業」を一覧表にまとめ、ひと目でわかるよう簡潔明瞭に表記をさせていただいております。また、事業の詳細をすぐに検索できるよう、関連ページを表示するとともに、新規事業及び拡充事業については、

それぞれ括弧書きで表示してあります。平成27年度と比較して、「重点的な取り組み」の数につきましては、47から52と5つ増加、「重点事業」の数につきましては、58事業から61事業へと3事業増加いたしました。平成27年度版に引き続き、新規・拡充事業に限らず、継続事業であっても重点的に取り組む事業については掲載をすることとし、教育行政方針との整合を図っております。

次に、14ページをご覧ください。こちらは、「重点的な取り組み」及び「重点事業」の見方となっております。次の15ページから30ページまで、第2期教育振興基本計画における3つの基本目標と、それぞれの施策の方向ごとに、黒い星で示した重点的な取り組み、白い丸で示した重点事業、点で示した重点事業を達成するための具体的な方法をそれぞれ掲載しております。

策定にあたっての考え方等につきましての説明は、以上でございます。

それでは、15ページ以降の「重点的な取り組み」及び「重点事業」につきまして、それぞれ担当課所長から、順次ご説明をさせていただきます。

小林教育センター所長 それでは、15ページをご覧ください。重点的な取り組み1、ICTを活用した教育の充実は2億5,550万円を計上しております。主に校内系ネットワークを活用した児童生徒のICT活用能力の向上を図るため、教職員研修の実施や電子黒板等のICT機器の整備を予定しております。

続きまして、重点的な取り組み2、情報モラル教育の推進でございます。先ほどの取り組み1と関連するものでございますが、ハード面やソフトの整理と並行して、使う側のモラルやリテラシーを高めることを狙いとして研修会を進めてまいりたいと思います。

また、4番目の黒ぼち、生徒を中心とするスマホ等の共通ルールづくりの支援を行ってまいります。

瀧田指導課長 引き続き、重点的な取り組み3をご覧ください。学校図書館の充実です。3,697万円を計上しておりますが、今年同様学校司書を配置するための経費でございます。

続いて、下の欄、重点的な取り組み4、指導内容・指導方法の改善ということで、小中一貫教育の研究をスタートいたしましたが、来年度2年目ということで、同じように研究委嘱をしております。

ちなみに、また11月に、今度は3ブロックの発表を予定しております。北中ブロック、南中ブロック、北陽中ブロックです。

小林教育センター所長 続きまして、重点的な取り組み5、学力調査等の活用でございます。各種学力調査の問題及び結果を分析し、ブックレットにまとめるなどして教職員に提供したり、学力向上研修会や国語、算数・数学の主任研究協議会等行い、教職員の資質、能力の向上を図ります。

瀧田指導課長 続いて、16ページに移ります。重点的な取り組み6、自然保護や環境保全活動の推進です。520万円を計上しておりますが、本年度からスタートしました小学校全校による生物多様性子ども調査を継続してまいります。

続いて、その下、重点的な取り組み7、小中学校における英語教育の推進と語学指導助手（ALT）の活用です。拡充ということにしてありますが、6,200万円ということで、予算の額については多少減額をしているのですけれども、これで6月から2月までの配置を考えております。人数は変わらず、27人でございます。拡充としましたのは、小学校の外国語活動がそのうち、平成30年度に教科化されるという動きがありますので、その小学校の教員を対象にした研修を始めようということで、拡充としてあります。

続いて、重点的な取り組み8、日本伝統文化推進事業の推進です。943万円を計上してあります。これも、今年度同様、小中学校の伝統文化教育をさらに進めるということで考えています。

17ページにまいります。重点的な取り組み9、防災教育の充実です。これも拡充でございます。特に学校防災の日として、小中学校全校が一斉に引き取り訓練で防災訓練ができるようにということで、来年取り組んでまいります。最終的には、平成29年度9月、始業式の次の日と今は想定していますが、市内全校で一斉の引き取り訓練ができるように進めてまいります。

続いて、重点的な取り組み10、きめ細かな生徒指導体制の充実です。122万円を計上しています。これは、市のいじめ防止基本方針を踏まえてのいじめ問題対策連絡協議会、さらにいじめ防止基本方針を踏まえた学校の基本方針の改訂などに努めていきます。

重点的な取り組み11、体験活動の充実です。学校農園の充実ということで330万円を計上しています。市内小中学校、現在11校が近くの田んぼですとか、畑などを借りて体験活動をしています。これを同じように進めていくということです。

小林教育センター所長 続きまして、重点的な取り組み12、教育相談体制の充実です。予算は6,073万円でございます。今年度から本市独自で配置しております3名のスクールソーシャルワーカーや学校相談員、スクールカウンセラー、学び総合指導員と連携を図りながら、教育相談体制を充実してまいります。

瀧田指導課長 18ページに参ります。重点的な取り組み13ですが、これは先ほどのいじめ・不登校の未然防止、早期発見、早期解消というタイトルですが、いじめにかかわるものとして再掲でございます。122万円ということです。

小林教育センター所長 続きまして、重点的な取り組み14、不登校児童生徒への教育的支援でございます。家庭、学校、教育センターの連携、特に適応指導教室おあしすを中心に、不登校児童生徒の学校復帰を目指して支援を実施してまいりたいと思います。

瀧田指導課長 中段に参ります。重点的な取り組み15、教職員研修の充実です。99万円を計上しておりますが、特に人権教育の研修を、職階別、さらには経験年数別ということで研修会を開催してまいります。

小林教育センター所長 続きまして、重点的な取り組み2、こちら情報モラル教育の推進につきましては、再掲でございます。

上野学務課長 次に、健康教育の充実、重点的な取り組み16、学校保健の充実でございます。予算は8,827万9,000円を計上しております。取り組みの1点目といたしましては、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎を培うよう、各学校で健康診断を実施し、その結果を活用して一人ひとりの生活実態を把握するとともに、課題の明確化を図ります。

2点目は、学校歯科医師会と連携して、保護者や教職員を対象とした研修会を実施し、児童生徒の歯科口腔衛生の向上を目指してまいります。

3点目は、現在、食物アレルギーに関するマニュアルはございますが、その他のアレルギーに関するマニュアルがございませんので、新たに作成していきたいと考えております。

川村給食課長 続きまして、19ページをご覧ください。重点的な取り組み17、栄養管理の充実でございますが、はじめに食物アレルギーへの対応でございますが、今年度も食物アレルギーに対応したパンやデザート等の対応食や、特定原材料7品目であります卵、乳、小麦、えび、かに、そば、落花生を除いた給食の提供に引き続き努めてまいります。さらに、食物アレルギー対応を含む個別指導及び情報提供することで、事故防止に努めてまいります。

次に、給食献立の研究につきましては、予算額5万円でございますが、特に平成28年度は、現代の食生活に不足しがちな野菜をテーマとして、積極的に野菜料理を給食献立に取り入れてまいります。また、オリンピック開催年のため、世界の料理を献立に取り入れ、児童生徒の外国や日本の食文化に対する理解を深めてまいります。

続きまして、重点的な取り組み18、食に関する指導の充実でございますが、はじめに野菜についての指導、新規でございますが、食育のテーマとして「野菜」を取り上げ、野菜の種類やその栄養の大切さを教えることで、児童生徒の理解を深めてまいります。また、担任との連携による食に関する指導や野菜料理レシピ集の作成等を行ってまいります。

続きまして、児童生徒の食生活実態調査につきましては、朝食欠食や食事内容など児童生徒の食生活の実態を把握するため、食事に関する調査を実施してまいります。

続きまして、地場農産物の活用につきましては、予算額2億1,300万円でございますが、地域産業の関心を高め、食への感謝の気持ちを育むため、地場産米の「彩のかがやき」及び地場産野菜を活用した食育に努めてまいります。

山梨教育総務課長 続きまして、20ページをご覧ください。重点的な取り組み19、多様な就学機会への支援につきましては、入学準備金貸付制度の活用と適切な運用のために、予算を4,000万円計上いたしまして、制度周知のため、中学校3年生の保護者全員及び市内高等学校等への案内書を配布するとともに、償還金滞納者に対する臨宅催告等の実施をしてまいります。

上野学務課長 同じく重点的な取り組み19の2つ目の重点事業、就学援助制度の円滑な実施と適切な運用です。予算は、小学校費1億7,100万円、中学校費1億7,560万円の合計3億4,660万円を計上しております。経済的な理由で就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して支援がで

きますよう、全家庭にリーフレットを配付し、制度の周知と円滑な実施に努めてまいります。

小林教育センター所長 続きまして、重点的な取り組み20、幼保小の連携でございます。小1プログラム解消を目指す教職員、幼稚園教諭、保育士の資質向上を目的として、教職員、幼稚園教諭、保育士を対象とした研修を実施してまいります。

山梨教育総務課長 続きまして、重点的な取り組み21、幼稚園教育の振興につきましては、幼稚園教育への支援といたしまして、予算5億7,530万円を計上しております。保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園就園奨励費補助金の支給、また幼稚園の設備の充実、さらに幼稚園教職員の研修のための補助金の交付を行ってまいります。

上野学務課長 続きまして、重点的な取り組み22、特別支援教育支援員等の配置です。予算は4,241万円を計上しており、この取り組みの主なものは次の3点です。

1点目は、特別支援学級及び通常学級に在籍する個別に援助が必要な児童生徒に対応する特別支援教育支援員の配置です。各学校からの申請に基づき、教育センターと連絡して児童生徒の実態をつかみ、特別に支援を要する者に対して、効果的な配置に努めているところでございます。この配置につきまして、児童生徒の豊かな学校生活と円滑な学校運営のための支援の側面からも重点としてまいります。平成28年度当初は、前年当初より2名増員して、47名を配置する予定でございます。

2点目は、病気代員などの県費発令前の期間に、担任不在を解消するために、市費で任用するものでございます。

3点目は、日本語指導員です。近年、増加しております外国人児童生徒が、早く小中学校に適応できるよう、指導課と連携して効果的な配置に努めてまいります。

小林教育センター所長 続きまして、20ページの最下段をご覧ください。重点的な取り組み23、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の推進でございます。予算は135万円でございます。教職員研修の実施や専門家による発達支援訪問指導を行うことで、個別的な支援が必要な児童生徒に対する教職員の指導力の向上を図ります。

齋藤学校管理課副課長 続きまして、21ページになります。重点的な取り組み24、安全な学校施設の整備と充実でございます。3つほどの取り組みを明記しております。

はじめに、安全な学習環境の確保です。3億930万円を計上しております。福祉環境整備や老朽化対策、緊急性の高い箇所など、計画的に施設改修を行ってまいります。

次に、非構造部材の耐震化です。2億2,917万円を計上しております。国庫補助金を活用した繰り越し事業として、大規模災害に備えた屋内運動場等の非構造部材の改修工事を実施いたします。

次に、小学校仮設教室借り上げでございます。782万円を計上しております。レイクタウン特定土地区画整理事業における川柳小学校の通学区域内の児童数の増加が見込まれ、今後、教室数に不足が生じることにより、仮設教室を借り上げるものでございます。

続いて、重点的な取り組み25、快適な学校環境の整備と充実でございます。順番が逆になりますが、まずは新規事業としてトイレの洋式化でございます。1,000万円を計上しております。トイレの洋式化につきましては、第4次越谷市総合振興計画に基づく福祉環境整備の一環として、校舎ごと、階ごとに男女各1カ所の洋式便器への改修工事に取り組み、平成27年度に大間野小学校と花田小学校を実施したことにより、この考え方に基づく整備が終了したところでございます。

したがいまして、平成28年度以降につきましては、学校施設の便器の洋式化について、平成19年に整備しました城ノ上小学校での洋式化率約70%を最終目標として、小学校低学年1、2年生から整備を進めていくものとしたします。その際、整備の手法としましては、小学校教育生徒用については、公共施設において和便器があること。接触嫌悪など、さまざまな要因から和便器を1基残しまして、洋式化を進めていくこととしたします。

次に、教室へのエアコン整備でございます。2,730万円を計上しております。普通教室等へのエアコン設置に向けて、平成26年度につきましては、全小中学校45校を対象とした基本設計を実施いたしました。その内容を踏まえまして、具体的な設置スケジュールを検討させていただきました。その結果、平成28年度より、小学校15校ずつの2年間で、中学校につきましては1年間で、合計3年間の平成30年度をめどにエアコン整備を進めることとなっておりますことから、平成27年度に小学校15校の設計を行っております。

これらを踏まえまして、学校間格差の解消や財政支出の平準化を図るという視点から、再度エアコンの整備の手法につきまして総合的に検討を行い、民間活力を生かしたPFI方式を採用して、平成29年度に一括して小中学校45校のエアコン整備を進めることに変更となりました。平成28年度につきましては、各種手続を行い、PFI事業者を決定し、事業を進めてまいります。

小林教育センター所長 続きまして、重点的な取り組み26、教育情報の収集・発信および教育ネットワークの管理・運用でございます。予算は1億5,735万円を計上しております。教職員の校務の共通化等による教育の質の向上を目的とした学校系ネットワークシステムの運用でございます。

22ページをお開きください。重点的な取り組み27、教職員研修の充実でございます。予算は505万円でございます。今年度、埼玉県から移譲された法定研修を中心とした県費負担教職員研修の円滑な実施と、本市独自の研修をさらに充実させたいと考えております。また、県実施の研修に参加する場合には、委託料が発生しますので、県への委託料も含まれております。

瀧田指導課長 続いて、重点的な取り組み28、学校応援団の推進です。全校に学校応援団は既にできておりますが、この活動をさらに活発、充実に努める形で研修を進めてまいります。また、さらに広くボランティアの方々に協力をしていただくよう周知してまいります。予算は400万円です。

福田生涯学習課長 23ページをお願いいたします。続きまして、重点的な取り組み29、市民との協働による推進体制の充実でございます。多様化する市民の学習ニーズに適切に対応し、一人ひとりの自己実現につながるよう、市民との協働及び関係機関との相互の連携協力によりまして、生

涯学習推進体制の充実に取り組んでまいります。

続きまして、重点的な取り組み30、ライフステージ・ライフスタイルに対応した学習機会の充実でございます。予算額は1,328万円でございます。市民がライフステージ、ライフスタイルに応じて主体的に学ぶことができるよう、公民館における各種学級、講座の開催など、学習機会の充実に努めてまいります。

重点的な取り組み31、人材育成の支援は、学習成果を地域社会やまちづくりに生かすことができるよう、生涯学習リーダー、ボランティアの養成講座を開催いたしまして、生涯学習事業の企画運営ボランティアの参画促進に努めてまいります。予算は13万6,000円でございます。

続きまして、重点的な取り組み32、人権教育推進事業の充実でございます。予算は287万8,000円でございます。人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権意識の高揚を図るため、講演会や講座を開催してまいります。

続きまして、24ページをお願いいたします。重点的な取り組み33、あだたら高原少年自然の家の利用促進でございます。予算は5,784万2,000円でございます。人や自然を思いやり、健やかで心豊かな青少年を育むため、学校行事における自然体験学習の場として活用するほか、スポーツ少年団、社会教育関係団体をはじめとした市民の皆様の利用の促進に努めてまいります。

小林科学技術体験センター所長 続きまして、重点的な取り組み34、科学技術体験センター事業の充実・拡充でございます。予算額は80万円でございます。科学技術に興味、関心を持ってもらいますよう、テレビで話題になっていますペッパーロボットを、サイエンスショーなどで公開してまいります。

体験につきましては、本年度から、中学生から大人までを対象にした講義形式の科学実験、工作体験教室の開催や、木工の基礎から段階的に学ぶことができる小学生のための木工教室を開催してまいります。また、サイエンスボランティアの特技を生かし、電子工作を基礎から学べる電子工作クラブや、電子工作クラブ終了後に学ぶことができるマイコンクラブを開催してまいります。そのほか、参加した人が話し合いながら学ぶことができるサイエンスカフェ形式の教室を開催するなど、事業の充実に努めてまいります。

小林図書館長 続きまして、図書館でございますけれども、24ページと25ページに一括して掲載されていますので、順次ご説明申し上げます。

まず、重点的な取り組みの35ですが、図書館機能の充実として2項目ございます。1点目としては、南部図書室の蔵書等の充実1,524万円になります。南部図書室につきましては、本市の南部地域における図書館サービスの拠点とすべく、平成26年の9月1日に移設・拡充をしましたが、今後とも、計画的な蔵書等の整備や、「こども図書室」の利用推進などを図ることにより、利用者の増加と定着につなげてまいります。

また、2点目の歴史的資料の整理保存310万円ですが、図書館の機能としては、日々の図書の貸

出に加え、歴史的な資料の整理保存というものも、一方において重要な取り組みでございます。具体的には、市史編さん時における未整理資料の整理と目録化や、中性紙封筒・中性紙保存箱等による資料保存を行うとともに、劣化のおそれがある貴重資料については、殺虫・殺菌のためのくん蒸を施し、劣化を抑制する対策を講じてまいります。なお、より多くの方々に情報発信ができるよう、引き続き、資料のデジタル化による保存と活用の準備にも取り組んでまいります。

次に、25ページの重点的な取り組みの36ですが、図書館システムの活用による利便性の向上6,008万円になります。こちらについては、本館や北部・南部・中央の図書室のどこで借りても、どこでも返せるというような、ネットワーク化された一体的・効率的なサービスを提供してまいります。また、蔵書検索やレファレンスの効率化とともに、平成24年11月から視聴覚資料としてのCD・DVDの予約も始めましたので、それらを含む図書館資料のインターネット予約にも対応してまいります。さらに、持ち去り防止装置と自動貸出機につきましては、平成24年度から実証実験的に中央図書室で運用を開始し、その有効性等が確認されていることから、平成26年度の南部図書室に続き、平成27年度では本館においても同様に導入しましたので、資料管理のより一層の充実と利用者の利便性の向上等に努めてまいります。

次に、重点的な取り組みの37の子ども読書活動の推進ですが、1点目としては、講座等の開催を通して、ご家庭の親御さんや地域のボランティアの方、学校図書館運営ボランティアの方に「読み聞かせ」のノウハウなどを習得していただき、人的な側面から読書活動を推進していこうというものでございまして、予算額は26万円になります。具体的には、平成27年度において、初級コースの開催回数を従来の年1回から年2回に拡充するとともに、新規に中級コースを設けることにより、学校図書館運営ボランティア等の人材育成を目的とする講座を充実しましたので、平成28年度では、親子を対象とする講座の開催回数の増によって、その拡充を図ってまいります。

2点目としては、学校等との連携と子どもが読書に親しむ機会の提供ですが、こちらについては、調べ学習への資料提供や、図書館見学の実施、また、県内では少なくなりましたが、移動図書館というものが本市にはございますので、すべての学童保育室への移動図書館の巡回についても引き続き実施してまいります。また、身近な場所における読書環境のさらなる整備を進めるため、地区センター・公民館等への配本を充実するとともに、本館や北部図書室、南部図書室、中央図書室における「おはなし会」の拡充に加え、地区センター・公民館において、新たに「おはなし会」を開催してまいります。

いずれにしても、子ども読書活動の推進につきましては、行政職員によるサービスには限界がありますので、今後においても、ボランティア活動に熱心に取り組んでいらっしゃる方々などの、いわゆる「市民力」というものを、より一層活用させていただこうと考えております。

なお、児童資料の有効活用ということで、保育所とか小学校などへ児童書や絵本等の所管換えをし、限られた財源の中で、読書活動の環境整備に引き続き努めてまいります。

最後に、重点的な取り組みの38の図書館の適切な管理ですが、本館の施設・設備の計画的な改修2,300万円になります。公共施設のマネジメントの問題が大きくクローズアップされている中、本館である市立図書館は、昭和58年の開館で30年以上が経過していることから、その機能の維持・向上を図るため、施設・設備の計画的な改修を行うことで、ここに写真がありますように、レンガづくりの価値ある構造物といわれております本館の長寿命化に努めるものでございます。具体的には、空調機の改修工事等でございます。

福田生涯学習課長 26ページをお願いいたします。重点的な取り組み39、市民との連携による発表機会の充実でございます。予算額は705万円でございます。市民文化祭や市美術展覧会の開催、文化総合誌「川のあるまち」の発行など、市民が日ごろの成果を発揮できる機会の充実に努めてまいります。

次に、重点的な取り組み40、越谷コミュニティセンターの利用促進でございます。予算額3,900万円でございます。市民に快適に利用いただけるように、大ホールの音響設備の更新をさせていただくものでございます。

次に、重点的な取り組み41、伝統文化の振興と継承でございます。予算額は494万円でございます。伝統文化の理解を深め、地域に対する愛着や誇りを育むため、こしがや薪能やこしがや能楽体験教室を開催いたしまして、伝統文化鑑賞の機会を提供してまいります。

27ページをお願いいたします。重点的な取り組み42、埋蔵文化財の保護でございます。予算額2,638万円でございます。貴重な歴史資料として後世に継承するため、大道遺跡の発掘調査を進めてまいります。

重点的な取り組み43、大間野町旧中村家住宅の利活用の促進としまして、予算額280万3,000円でございます。

続いて、重点的な取り組み44、旧東方村中村家住宅の利活用の促進といたしまして、予算額366万円でございます。地域・歴史学習等の郷土学習の場として活用していきたいと思っております。

植田スポーツ振興課長 それでは、28ページをお開きください。重点的な取り組み45、参加者への支援、予算額3万5,000円でございます。参加しやすい環境整備ということで、スポーツ教室等における子育て支援の一つとして臨時保育室を設置して、参加機会の拡充に努めてまいります。

重点的な取り組み46、高齢者の健康づくりの支援ということで、予算額4万円です。昨年に引き続き高齢者のスポーツ推進への取り組みということで、65歳からを対象といたしました元気教室を開催するほか、こちらから講師とともに福祉施設へ出向きまして、スポーツ・レクリエーションの楽しさを出前講座を通して周知していきたいと考えております。

重点的な取り組み47、障がい者の健康づくりの支援ということで、予算額12万5,000円となっております。これも昨年から引き続きまして、障がい者スポーツ教室の実施あるいは障がい者施設へ出前講座を実施しまして、障がい者の方の社会参加の促進に努めてまいります。

29ページをご覧ください。重点的な取り組み48ということで、スポーツボランティアの養成と登録ということで、ボランティア活動推進へ取り組んでまいります。具体的には、制度の周知を図り、登録者を増やすほか、活動の場ということで、活動団体へ制度の周知をするほか、さいたま国際マラソンへのボランティアの参加を募集ということで周知をしてまいります。

重点的な取り組み49、スポーツリーダーバンクの充実ということで、スポーツリーダーバンクの登録の促進と活用ということで、周知はもちろんですが、登録だけではなく、活用ということに来年度は重点を置きまして、自治会と連携をしてスポーツ教室を開いていただきまして、登録者を活用するほか、障がい者施設への出前講座においても、スポーツリーダーバンク登録者を活用してまいります。

30ページをご覧いただきたいと思います。重点的な取り組み50につきましては、総合体育館の利活用の促進ということで、予算額1,075万円になっております。総合体育館を利用する方が安全で安心して快適にご利用できるように、エアコンの整備工事等、その他武道場の床研磨についても修繕を行ってまいります。

その他、スポーツ大会の誘致ということで、プロスポーツ大会、現在、イースタンリーグと女子プロ野球を誘致しておりますが、来年度は新たにＢＣリーグ、ベースボール・チャレンジ・リーグというのですか、埼玉県の熊谷のほうに武蔵ヒートベアーズというチームがありますので、このチームのホームゲームの一つとして、来年度、市民球場で３試合を予定しております。

その他、東京オリンピック・パラリンピックに向けまして、総合体育館あるいはしらこぼと運動公園等におきまして、練習会場として利用していただくように、関係者あるいは関係機関を通して取り組みを行っております。

重点的な取り組み51、地域体育館の利用促進ということで、予算額が280万円。これも利用者の方が安全で安心して快適に施設を利用できるように修繕をしてまいります。

最後になります。重点的な取り組み52、屋外体育施設の利用の促進ということで、これも利用者の方が快適に利用できるように、点検及び修繕を行ってまいります。

スポーツ大会の誘致につきましては、先ほど申し上げた内容でございます。

横川教育総務部長 以上をもちまして、「平成28年度教育行政重点施策」についての説明とさせていただきます。

ご協議のほど、よろしくお願いいたします。

住田委員長 これより協議に入ります。

ご意見等ございますでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 16ページの重点的な取り組み7で、ALTについてですが、近年、英語教育の重要性が高まっていますが、このALT（アシスタント・ランゲージ・ティーチャー）は、越谷市

ではどのように選考しているのでしょうか。

吉田教育長 指導課長。

瀧田指導課長 越谷市の場合は委託事業としまして、一般の民間の派遣会社に依頼をして派遣してもらっています。毎年3社ぐらいの入札があるのですが、そこで金額の一番安いところということで考えていますが、中にはALTを集める能力がないような会社というのもありまして、その選定には十分に気を使っているところです。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

はい。

堀川委員長職務代理者 17ページ、心の教育の充実の中の体験活動ということで、学校農園事業とありますけれども、田んぼではお米をつくられていると思うのですが、畑のほうではどのような作物をつくられているのですか。

吉田教育長 指導課長。

瀧田指導課長 ほとんどの学校が水田を活用しての稲作というのが中心なのですが、中には畑でサツマイモ、それからジャガイモなどの栽培をしているところもあります。

堀川委員長職務代理者 ありがとうございます。

住田委員長 他にはいかがですか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

住田委員長 なければ、いただきました意見等を踏まえまして進めていただきたいというふうに思っております。

他に何かございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他になければ、以上といたします。

最後に、次回の教育委員会会議の日時でございますが、よろしいでしょうか。3月24日木曜日、午後3時30分から教育委員会室で開催したいと存じますが、いかがでしょうか。午前中は卒業式だと思いますけれども、大丈夫ですか。

〔「はい」と答える者あり〕

住田委員長 では、そのようにいたしますので、よろしくお願いいたします。

◎閉会の宣告

住田委員長 それでは、本定例会に提出されました議案等全て終了いたしました。

これをもちまして閉会といたします。どうもありがとうございました。

(午前11時48分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

委員長 住田 俊

委員 堀川 智子

委員 進藤 秀子

委員 荒木 明子

委員 吉田 茂
(教育長)

書記 教育総務課副課長 中村 則行